

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざし、各教育部門、各学部において、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①教育課程の改善・適切な編成及び専門性の向上と継承にむけて、授業改善に継続的に取り組み、校内研究、研修を実施していく。 ②ICT機器の活用・授業づくり・授業改善の継続、視線入力機器の推進等に積極的に取り組む。	①個別教育計画を踏まえた授業実践に取組み、教育課程の検証と改善・適切な編成を行う。校内研究、研修を推進する。 ②ICTを活用した授業づくり、授業改善の継続、ネットワークを活用した協働的な学びの環境整備、視線入力機器の活用と管理等に取り組む。	①児童・生徒一人ひとりのニーズと課題を共有し、教職員の共通理解と組織的な研究、授業実践をし、指導・評価の徹底と授業改善に取り組むことができたか。 ②児童・生徒一人ひとりに適したICTを活用した授業づくり、ICT教材を含む教材教具(視線入力機器を含む)の活用と改善を進められたか。
2 児童・生徒 指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの実態や支援ニーズ、生活年齢に応じた指導・支援を組織的、計画的に取り組む。	①児童・生徒一人ひとりの実態や支援ニーズ、生活年齢を十分に踏まえた上で、アセスメントを充実させ、指導・支援に取り組むとともに個別教育計画の改善及び活用を充実させる。 ②医療的ケアを必要とする児童・生徒の通学支援の充実を図る。	①専門職、相談担当等と連携し、より良い指導体制の構築をめざす。自立活動、医療的ケア等、特別支援教育の専門性の継承と向上に取り組むとともに個別教育計画の改善及び活用を充実させる。 ②医療的ケアを必要とする児童・生徒の通学支援の充実を図るために、関係諸機関と連携し、一つひとつ丁寧に取組む。	①専門職、相談担当を含めたチームで情報を共有し、個別教育計画に反映して指導支援に活かすことができたか。専門性の継承と向上に取り組むことができたか。 ②通学支援の充実を図るために、関係諸機関と連携し、一つひとつ丁寧に取組むことができたか。
3 進路指導・ 支援	・将来の一人ひとりの生活の充実をめざし、卒業後の進路を視野に入れ、障害の特性や発達段階に応じた進路指導・支援を行う。	①児童・生徒の自立と社会参加及び将来を見据え、発達段階など個に応じた一貫性のあるキャリア教育の推進及びシチズンシップ教育の充実を図る。 ②保護者に対する的確な進路情報や福祉制度を提供、周知しそのニーズに応えるとともに理解啓発を図る。	①児童・生徒の自立と社会参加及び将来を見据え、発達段階など個に応じた一貫性のあるキャリア教育の推進及びシチズンシップ教育の充実を図る。 ②進路及び福祉に関する情報を説明会、事業所見学、個別面談等で保護者、教職員にわかりやすく提供し、理解啓発を図る。	①保護者、進路担当及び専門職等と連携し、個々の特性や発達段階に応じた支援を実施することができたか。また、キャリア教育及びシチズンシップ教育の充実を図ることができたか。 ②説明会、事業所見学、個別面談等で適切な情報提供ができたか。また、教職員にも研修等の機会を提供していくことができたか。
4 地域等との 協働	・他者理解と多様性を認め合う共生社会の実現に向け、障害のある児童・生徒の理解啓発を図るため、地域への発信や、地域と連携した教育活動を充実させる。	①コミュニティ・スクールの確実な運営と地域と連携した切れ目ない支援の充実を図る。また、「小・中学校との「人的交流」による地域における支援教育の充実」の推進に取り組む。 ②三つの学びの場が一体となり、地域の中での豊かな学びと、地域に根指した安心できる生活の実現に向けて取り組む。	①コミュニティ・スクールの確実な運営と地域と連携した切れ目ない支援の充実を図るために関係諸機関との綿密な連携を図る。また、「小・中学校との「人的交流」による地域における支援教育の充実」を推進するために、初年度の取組みを丁寧に行う。 ②小田原校舎、湯河原校舎、大井分教室の三つの学びの場が一体となるとともに、それぞれの地域において担当者が中心となり、校内の諸課題の整理をし、地域や関係諸機関等と連携を図りながら、丁寧に推進する。	①地域と連携した教育活動の推進(コミュニティ・スクールの確実な運営、切れ目ない支援の充実)するために校内外及び保護者の理解推進を図ることができたか。 ②三つの学びの場が一体となるとともに、それぞれの地域において校内の諸課題の整理をし、地域や関係諸機関等と連携を図り、一つひとつ丁寧に推進することができたか。
5 学校管理 学校運営	・児童・生徒の安全と健康を守り、防災教育等に取り組む、良好な教育環境の整備を推進する。 ・不祥事防止の徹底と当事者意識を持ち、良質の同僚性を構築し、教師力アップを目指す。また、教職員の働き方改革の実現をめざす。	①児童・生徒の安全と健康を守り、校内防災・地域防災の充実・連携に向け、迅速に、組織的、継続的に取り組んでいく。基本的な衛生管理を継続し実態に応じた感染症予防を行う。 ②不祥事防止会議・研修の実施と意義付けを行い、啓発活動を継続する。また、働き方改革について、事務処理の効率化に向けた取組みを実施する。	①校内防災の充実と地域防災の連携に向け、引き続き迅速に、組織的、継続的に取り組んでいく。感染症予防については、マニュアルの更新を含め、基本的な衛生管理や実態に即した対応を行う。 ②不祥事防止に向けた会議、研修、啓発活動を継続し、同僚性を高め、報告連絡相談に対する意識を高める。また、働き方改革について、事務処理の効率化等に向けた取組みを実施する。	①防災対策について、引き続き迅速に、組織的、継続的に取り組むことができたか。感染症予防対策を保護者等の協力を得ながら、学校全体で実施することができたか。 ②事故・不祥事ゼロが達成できたか。また、児童・生徒と向き合う時間を増やすなど教職員一人ひとりが意識しながら働き方改革に取り組むことができたか。